

—タイトスカートのダーツについての
知見 (その1) —

高知女大家政 市川 一夫
○村田 菊子

1. 前報までに直線上に設けられるダーツについて理論的、作図的な考察を行なった。更にダーツ設定の本来の目的は“しわ”の処理すなわち不要布地の処分にあるのではなく、平面布地に“ふくらみ”を与えることであるとの考えのもとに、ブラウスの脇下ダーツを取扱った応用例についての知見を述べた。第5報では設定線が曲線の場合についてダーツ設定の方法を述べたので、本報ではこの方法の応用例の一例としてタイトスカートのダーツをとりあげた。これも1966年7月までに公表された文献中には、タイトスカートのダーツを含む縫製前のウエストラインを理論的に明確に示したものは、全くないといっても過言ではないからである。

2. タイトスカートのダーツの方向、その長さ、分量および位置などの研究に入る前提として、本報ではダーツを入れる Kunick 氏の方法を少し変えて実験を行なった。

3. まずダーツの位置、方向、長さおよび量をきめ、それによって縫製前のウエストラインを第5報の方法で求めてみると、海洋の波状のような図形がえられた。